

東広島市立造賀保育所

『竹』は身近なあそびの道具！！
保護者や地域の方と一緒に取り組んだ竹のおもちづくりで
地域の方とのつながりや子ども達のおそびが広がりました。

保育環境づくりのポイント

園庭横にある竹藪。整備をしなければならぬ環境で、地下茎が伸びてついに園庭にもタケノコが生えてきました。しかし、子ども達も保育士も生えてきたタケノコに興味を持ちはじめ、「この身近な竹をあそびの環境に活かさない選択肢はない！」「竹伐採があそびにつながりSDGsにもなる！」と、竹をテーマにした環境づくりに取り組みました。

～こどもたちのこの力を育みたい～

- ☑感じる・気付く力
- ☑うごく力
- ☑考える力
- ☑やりぬく力
- ☑人とかかわる力

取組み内容

①園庭に生えてきたタケノコ！

このタケノコはこの先どうなるの？
観察してみよう。【感じる気づく力の芽生え】



②保護者や地域の方の力を借りて 竹伐採

道具の安全な使い方を教えてもらいながら、
安全に竹を切り出していきます。



③伐採した竹の加工

地域の方に作ってほしいものをあれこれとリクエスト。
子どもたちは加工の工具にも興味津々でした。
竹が色々な形に変化しました。

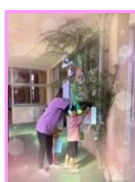


竹を切った時に出る粉。
この粉も子どもたちにとってあそびの材料になります。
【感じる・気づく力】

④竹であそぼう!!

竹つみき、竹太鼓、七夕飾り、竹とんぼ、
ぼっくり、樋、青竹ふみ、お正月飾り…
竹が遊びの中で大活躍！

採れたてのタケノコを給食室で
甘辛く煮て食べました。
味覚からも関心が高まっています。
【感じる・気づく力】



地域の方と一緒に竹とんぼや
竹ぼっくりで遊びました。
何度も挑戦！ 試行錯誤！
【人とかかわる力】【やりぬく力】
【考える力】【うごく力】



<今回の取組みを通して>

造賀の子どもたちにとって身近な存在だった「タケノコ」や「竹」でしたが、身近すぎてあまり目が向いていませんでした。竹を使った遊びの環境づくりを通して、保護者も「竹」に関心を持ち、また、子どもと地域の方との親しみも今まで以上に深まっています。何もなければ捨てられる竹ですが、竹を使った遊び方は様々で、子ども達の自由な発想が生まれる素敵な素材だということに、保育士も気づきました。 造賀保育所 職員一同

